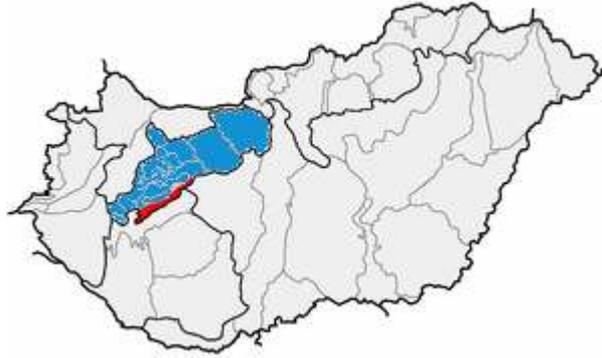


バラトン高地



バラトン高地はバラトン湖の北に東西に横たわる地方である。約 **3500** 平方キロメートルで、バラトン高地はザラ県とヴェスプレーム県に属している。ハンガリーの昔と自然美を同時に現している地方の一つであり、歴史的にも地質学的にも意義深い地方である。この地方には多数の死火山をはじめ、湖、森林などがあり、観光客が毎年大勢訪れる。また、大昔の教会や修道院の廃墟を見学することもできる。バラトン高地はカーリ盆地とパーチェイ盆地とタポルツア盆地に分けられる。タポルツアはバラトン高地の首都と言われている。**19** 世紀から酒造業で有名になった。

歴史

バラトン湖の広域の豊かな自然のおかげで、バラトン湖の回りは人が石器時代から住んでいた。考古学者がこれまで土器や石器をたくさん掘り出している。最も最近では銅器時代の屈葬の墓が出土した。鉄器時代になると、バラトン湖の周辺はケルト系民族の居住地になった。発掘した墳丘から、ここにハンガリーで最初にハンガリーに鉄製の武器やガラス壺などが輸入されたことが分かった。鉄器時代の墳丘をチハニユの近くで見学することができる。紀元 **10** 年からローマ帝国の一部になって、**400** 年の間にローマ帝国の人間はバラトン高地の文化を自分の宮殿や日用品の中に取り込んで豊かにした。ローマ帝国の時代に残った一番意義深い廃墟はケストヘイの隣のフェネークプスタにある、昔ワルクンと呼ばれた場所である。**9** 世紀にニトラから追い出されたスラブ人がここに住んでいた。言語学者によるとバラトン地域のある地方の名前（例：チハニユ、パロズナク、バラトン）はスラブ語から伝わったらしい。イシュトヴァーンと言うハンガリー王国の初代国王の時代にはバラトン高地はヴェスプレームを首都としてハンガリーの文化の中心になった。**18** 世紀のラーコーチ内戦でバラトン地方の人口は激しい戦いのせいで激減し、**1** 万人しか生き

残らなかった。1848年－1849年の独立戦争でも被害を受けたが、1860年代からどんどん発達してきて、現在の広範囲知られている、現在の国際的にも有名な観光地になった。

有名人

ハンガリーの芸術の中でバラトン湖を主題とした絵の人気は高い。バラトン湖を描いた4人の画家を紹介したい。

Egry József (エグリ ヨーゼフ) (1883年-1951年)



独学で画家となる。第一次世界大戦で負傷し、療養のためバダチョニの病院に入院した。バラトン湖の景色の美しさに感動して、主としてバラトン湖の絵を描き始めた。亡くなるまでケストヘイに住んでいた。

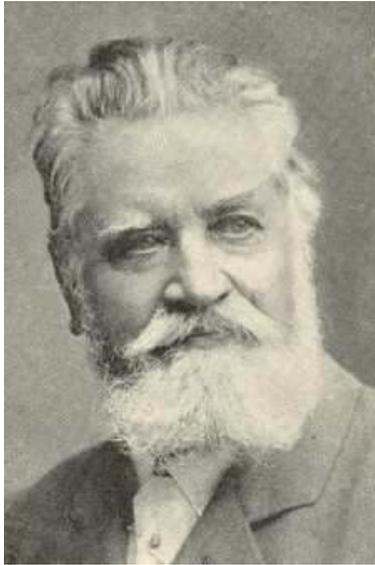


バダチョン



朝焼け

Telepy Károly (テレピ カーロイ) (1828年-1906年)



天才と称させるハンガリーのロマン主義の画家である。日常生活の艶美を鮮やかに描いた。今でも人気で、オークションでも高く売れるそうだ。



バラトン湖

Szinyei Merse Pál (シニエイ・メルシェ・パール)

(1845年-1920年)



すべてのハンガリー人に知られている画家である。ハンガリーの貴族であった彼は若い頃から同時期の画家に才能を認められていた。一生華やかな、明るいスタイルを発達し、世界中で有名である。たくさんのバラトン湖を主題にした絵を描いたが、一番有名な絵はマヤリシュと言うものだ。



マヤーリシュ



恋人同士

Mészöly Géza (メーソイ ゲーザ) (1844年-1887年)



彼は子供の時にある美術館で展覧会の絵を写生する機会があった。そのおかげでウィーン美術学園に入学することができた。卒業の後で春から秋までバラトン湖の周辺を旅をしたり、スケッチを取ったり、冬の間には、アトリエで自然の風をあざやかに表すスケッチ画を描いた。



水浴び

名所

Tihany-félsziget (ティハニ半島)



バラトン湖の北側にあるティハニ半島にはハンガリーで最も古い修道院が立っている。ハンガリー人の中でティハニの反響で有名だ。観光客がティハニの死火山からバラトン湖に向けて、大声で唱えると、言葉はがやまびこのように何度もひびく。そして、ティハニはハンガリー中でラベンダー畑でも有名だ。ブダペストから M7 高速道路を使って一時間半ぐらいのところにある。修道院の駐車場は **I. András** 広場にある。修道院の隣の博物館では毎月展覧会のテーマが替わり、ヴェスプレーム県の画家や彫刻家の芸術品を見学することができる。そして、ティハニ教会をはじめ、修道院の教会、**I. András** 国王の納骨堂も拝観することもできる。入場料は 1000 フォリント (約 450 円) である。

開館時間： 11 月～3 月、10 時～16 時。

4 月、10 時～16 時半。

5 月～9 月、9 時～18 時。

10 月、10 時～17 時。

Tapolcai tavasbarlang (タポルツアの地底湖)



ハンガリーで唯一の小舟で見学できる巖窟である。1903年に偶然発見された鉱水の地底湖は観光客が多い。巖窟の空気は肺患を治すと言われている。3月15日から8月31日まで10時から17時まで開いている。入口はKisfaludy u. 3.にある。ツアーはおよそ20分がかかり、料金は1500フォリント（約650円）である。タポルツアはヴェスプレームから国道8号線を西へ35分ぐらい行ったところにある。

Szigligeti vár (シグリゲト城)



バラトン湖の西隅にあるシグリゲト城は239メートルの高さの死火山の頂上に立っている。バラトンの城と言われるこの城は12世紀に建設された。戦争で被害を受けたが、1991年から少しずつ建て直してきた。シグリゲト城からバラトン高地の全てが見えるから、すばらしい景色を楽しむことができる。3月15日～10月31日まで見学することができる。入場料は600フォリント（約300円）である。シグリゲトはタポルツアから南へ5キロメートルのところにあり、車で10分ぐらいで行ける。城の駐車場はKisfaludy u.26.にある。

Szent György-hegy (セント ジョルジ山)



シグリゲトとタポルツアの間にあるラポシュカと言う小さな村の隣に立っている、414メートルの高い山である。セントジョルジ山を回って走る山路は一年中通ることができる。バラトン高地の自然の美しさを現している山路で、最も魅力ある場所は山の玄武岩オルガンである。セントジョルジ山はもともと火山だった。溶岩流が固まった時は針のような形となった。玄武岩針が何千も林立していて、教会のオルガンのようだ。入場料は必要ないが、ガイドが必要だったら、訪れる前に(87) 555-291の電話番号に電話をすれば、ガイドを予約することができる。その際は料金が必要だ。

レストラン

シグリゲト

バコシュ アティラ レストラン (Bakos Attila Vendéglő)



Iharos u. 4.にある、ハンガリーの伝統的な料理を提供しているレストラン。数百枚の昔の写真が壁に貼ってある内装がこのレストランの特徴である。写真は100年前のハンガリーの家族やシグリゲトの街を表している。家具もその100年前の空気を反映している。メニューにはアペタイザー、スープ、メインコース、デザートが何種類もあるが、量が日本人に

としては恐らく多すぎるだろう。レストランで一番人気のあるメニューはアンタルヘジベチャーレペチェニェ（アンタル山の凶漢の焼肉）と言う料理である。毎日11時～22時まで開いている、値段は平均で3000フォリント（1300円）ぐらいである。

住所：Szigliget, Iharos u. 4.

電話番号：+36(87) 461 210

営業時間：11時～22時

ソーローシュケルトレストラン

住所：Szigliget, Vadrózsa u. 3.

電話番号：+36(30) 470 2796

営業時間：11時～22時



ホテル

メドスホテル

住所：Szigliget, Antalhegy

電話番号：+36(70) 459 9599

営業時間：11時～22時



シグリゲト アパルトマン

住所：Szigliget, Réhelyi u.42

電話番号：+36(87) 561 036

営業時間：11時～22時

ティハニ

ケチュケコロムチャールダ (Kecskeköröm Csárda)



このレストランは Kossuth u. 19. にある。ケチュケコロムと言う名前はある伝説に関係がある。その伝説とは、ある呪われたヤギの群れがバラトン湖で溺れたというもので、湖畔には今でもそのヤギの爪が見える。つまり、ハンガリー語のケチュケコロムとはヤギの爪と言う意味である。実はケチュケコロムとはただの化石した赤貝の一種の化石である。チャールダと言うのはハンガリーの伝統

的なレストランの名前である。レストランの中でも庭でも食事を取ることができる。メニューにはアペタイザー、スープ、メインコース、デザートが何種類もあって、チャールダだけで食べられる、例えば、チュロクヨーアツソニモードラという特別な料理が一番人気である。毎日 11 時～22 時まで開いている。

住所：Tihany, Kossuth u. 19.

電話番号 : +36(87) 438 500

営業時間 : 11 時～22 時

バラジュレストラン

住所 : Tihany, Kossuth Lajos utca
77.

電話番号 : +36(30) 570 2433

営業時間 : 11 時～22 時



ホテル

アートリウムホテル

住所 : Tihany, Kenderföld u.
19.

電話番号 : +36(87) 538 100

営業時間 : 11 時～22 時



エコホテル

住所 : Tihany,
Felsőkopaszhegyi út 35.

電話番号 : +36(87) 448 043

営業時間 : 11 時～22 時



タポルツア

ヴァルユーフォガドー

住所 : Tapolca, Arany János u.
14.

電話番号 : +36 (20) 368 4605

営業時間 : 11 時~22 時



ガブリエルア ホテルとレストラン



ガブリエルアホテルはタポルツアの中心にあるマロム湖の湖岸に立っている。数年前に 13 世紀に建てた水車小屋のなかでホテルとレストランが作られた。

住所 : Tapolca, Batsányi tér.
7.

電話番号 : +36 (87) 511 070

営業時間 : 11 時~22 時

ペリオヌホテル

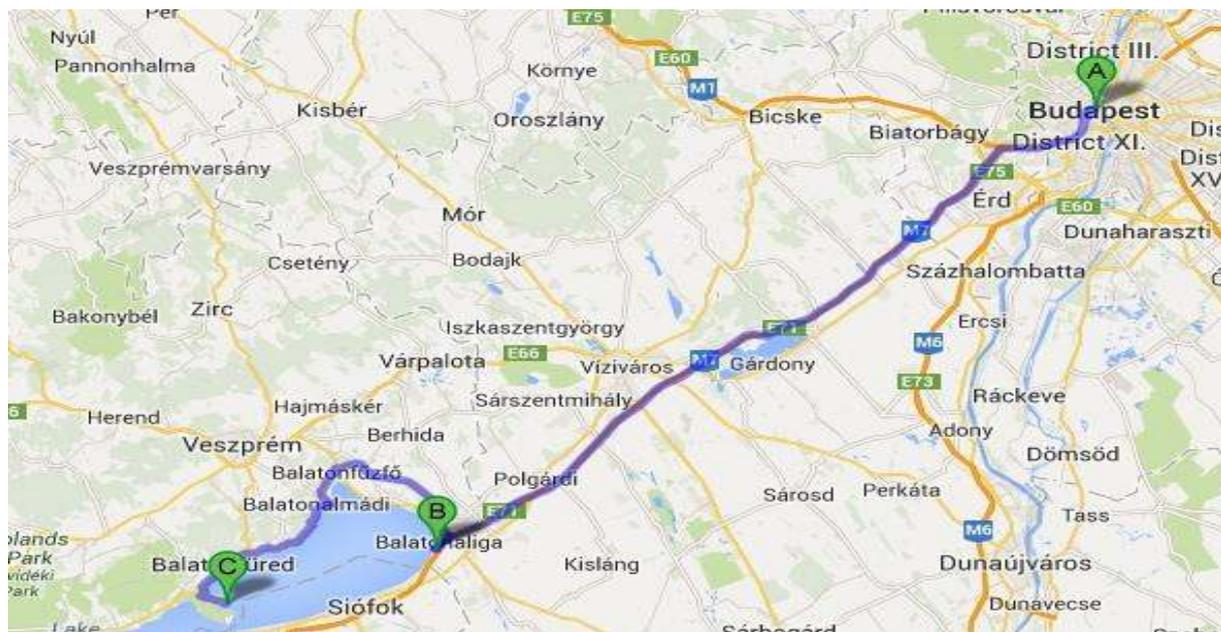
住所 : Tapolca, Köztársaság tér
10.

電話番号 : +36 (87) 513 100

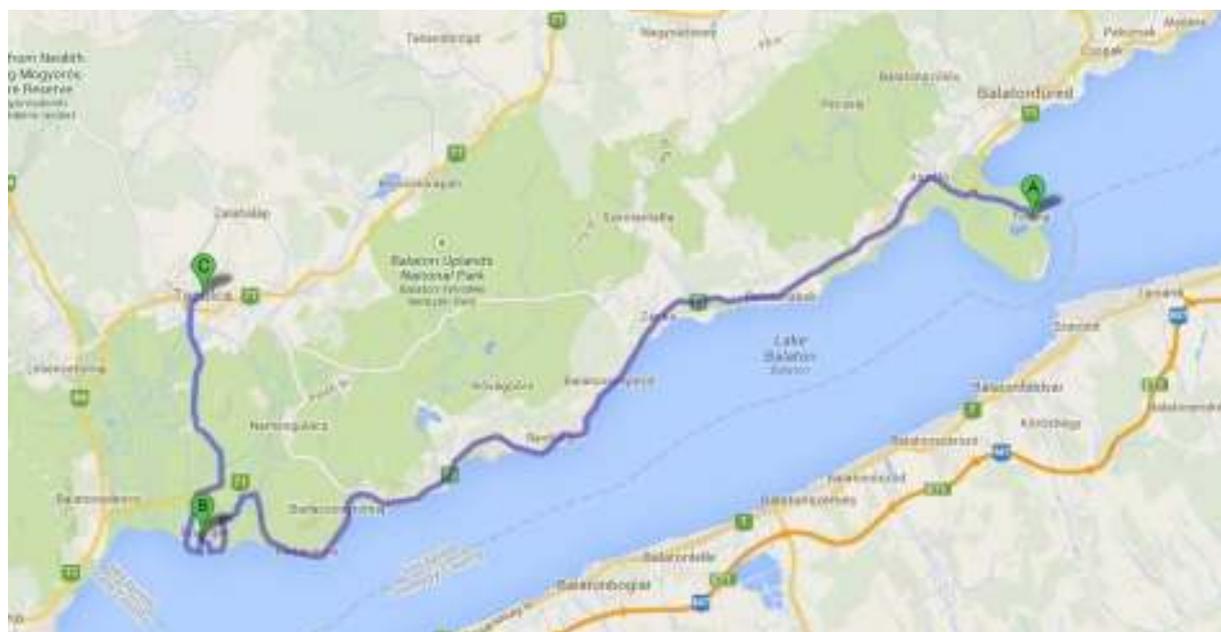
営業時間 : 11 時~22 時



おすすめドライブコース



A のブダペストから M7 高速道路を通過して、**B** のバラトンヴィラゴシュ (Balatonvilágos) からは国道 710 号線をバラトンフーズフォー (Balatonfűzfő) まで行く。バラトンフーズフォーからは国道 71 号線をバラトンアルマーティの方へ **C** のティハニまで行く。



A のティハニから国道 71 号線で西へ **B** のシグリゲトまで行く。シグリゲトから国道 71 号線を西へ行き、バラトンエデリチ (Balatonederics) で国道 84 号線に入って、**C** のタポルツアまで北上する。